

Eテレ“光点滅”基準超え映像の放送について

EテレのPR用に放送した「クラッチ」と呼ばれる5秒の映像の一部に、NHKと日本民間放送連盟が定めた「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」（光点滅ガイドライン）の基準を超える映像があったことがわかりました。

※「クラッチ」…番組の切れ目に放送する「スポット（通常25秒）」の前または後で放送する5秒のPR

○映像

「Eテレクラッチ」（5秒）

○放送日

6月26日（水）～7月19日（金）

○該当のシーン

「クラッチ」のうち、文庫本のページをパラパラとめくるシーンが基準を超える点滅となっていました。この映像は3.5秒で、上記期間にあわせて45回（Eテレ42回・総合3回）放送されました。

○反響

これまでに健康被害があったとの連絡や問い合わせはありません。

○経緯と今後の取り組み

担当者は、「光点滅ガイドライン」があることは認識していましたが、今回は、文庫本のページをめくる映像で、光が直接点滅するものではなかったため、ガイドラインの対象になることに気がつきませんでした。

NHKは、職員・スタッフに対し、光点滅映像に関する研修を改めて行うなどして再発防止に努めます。

以上